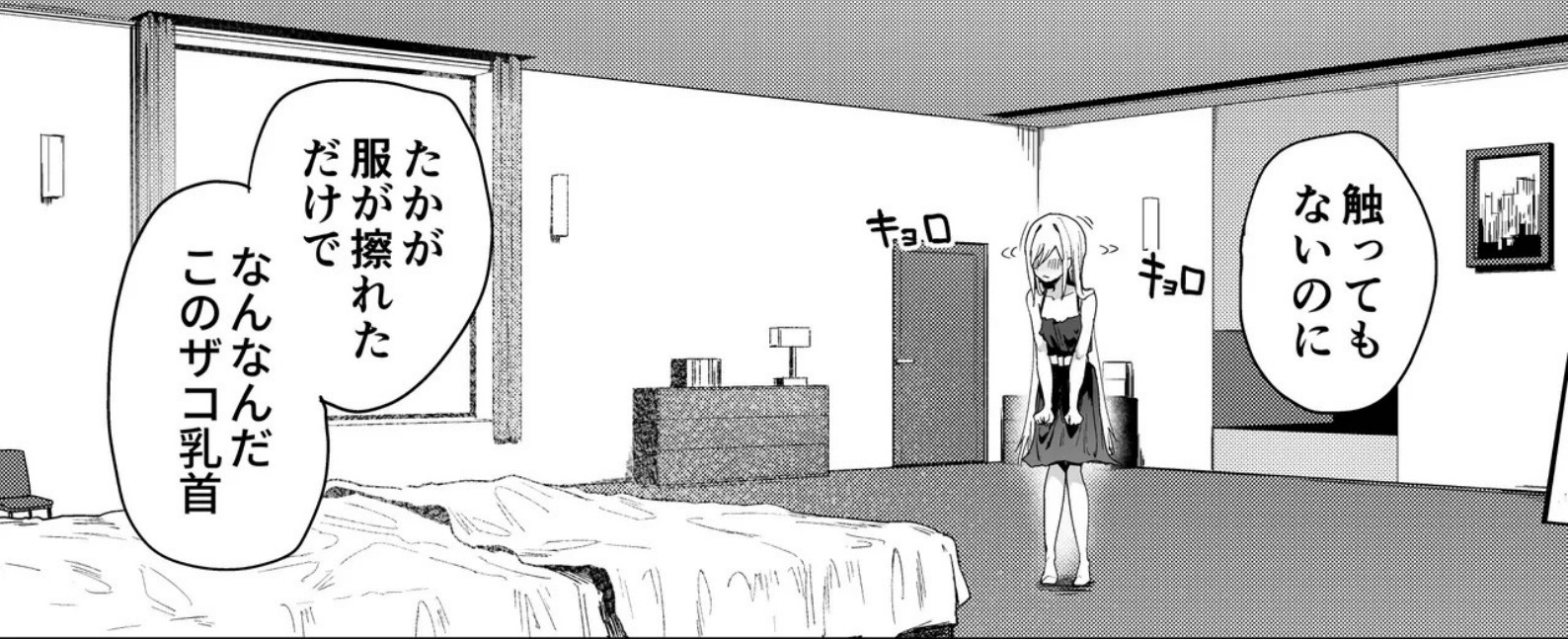




バレてますよ  
アイリス様。











こんなこと  
したくないのに

前にメイドを  
イジったら仕返し  
されて以来...

身体が疼くように  
なってしまった

ムカつく...



誰も彼も快楽に  
身を任せて  
馬鹿だな...と

少し前までは  
そう思ってた  
いたのに

ドクン

くっ...!!

ずるいっ

私は  
乳首を擦って  
興奮してツツツ

びんぐ  
今は...  
こすりたいたッ  
服で擦りたいッ!!

ずるいっ  
ずるいっ  
ずるいっ





そうだ  
これは違うぞ  
治めるために  
仕方なく:



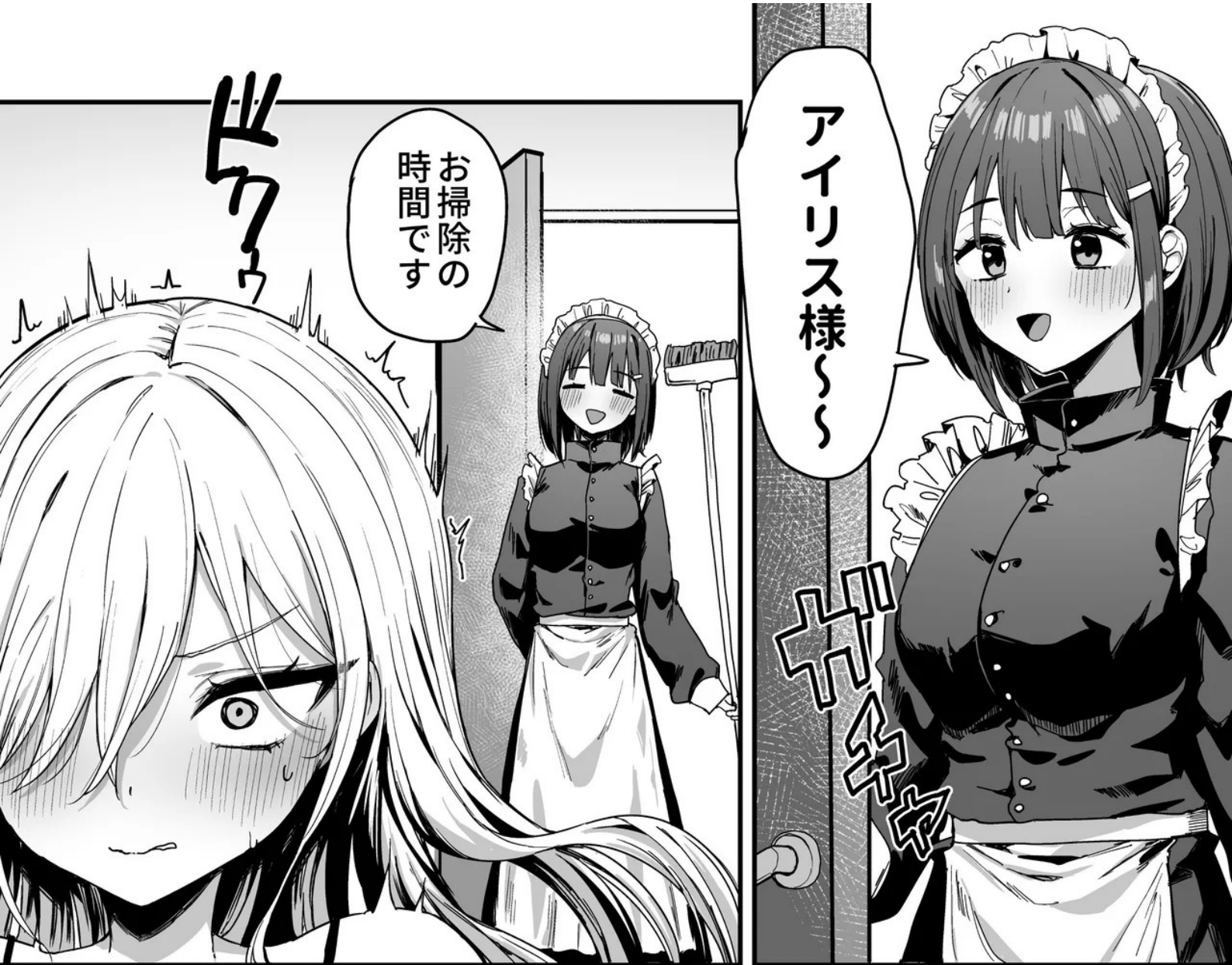
まるで私が  
性欲に抗えない獣ふっ...  
みたいじゃないか!!

私のせいじゃないぞ  
ヨーコのせいだ!!



よし  
興が乗った

今日は  
触つてやろう







ほぼこいつ  
のせいだ

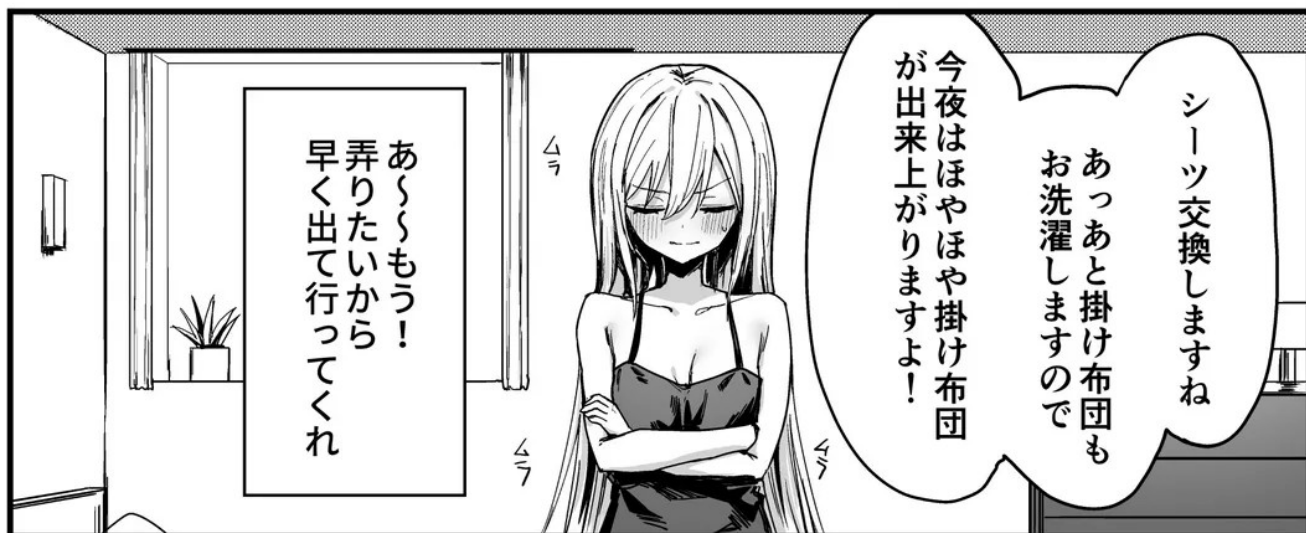


本当にしなくて  
いいんですか？  
そんなわけ  
ないですよね

では窓拭きだけ  
しますね

愛しのアイリス様  
がホコリまみれに  
なったら私は  
悲しいです

いいって  
言ってるだろ



シーツ交換しますね

あつあと掛け布団も  
お洗濯しますので

今夜はほよほや掛け布団  
が出来上がりますよ！

あゝもう！  
弄りたいから  
早く出て行ってくれ



で・て・け！！



どうされました？  
考え事ですか？

危ない…  
バレるところ  
だった

すごい  
勃ってたんだから

たかが快感に  
醜態と分かって  
興奮して…

脳が痺れるツ♡

私も愚かだ

でも  
気持ちいい…  
気持ちいい…

自分で触ってる  
だけなのに

どうすれば  
いいんだよ







来るッ♡ 来るッ♡

理性を超えた動物  
この衝動こそが

ぴちゅん

ガチャ

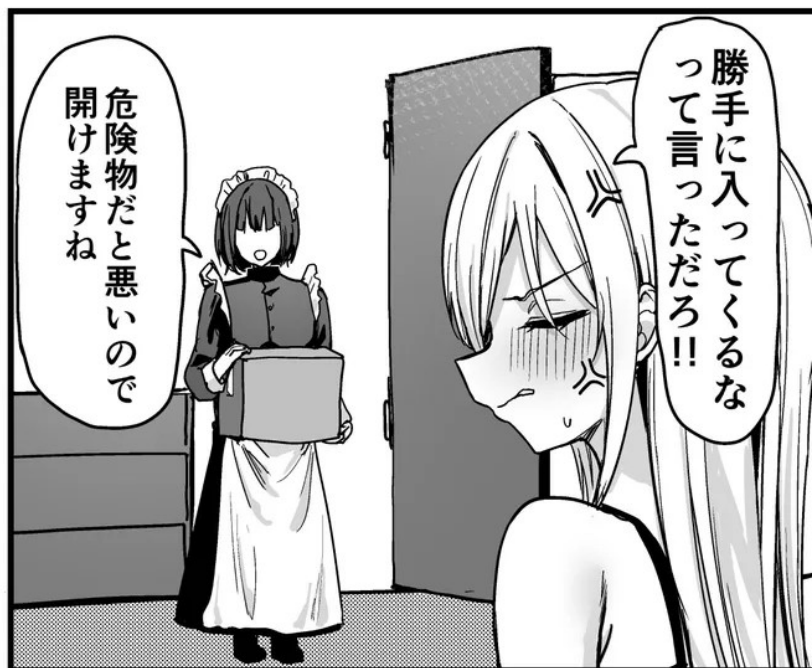
ムン

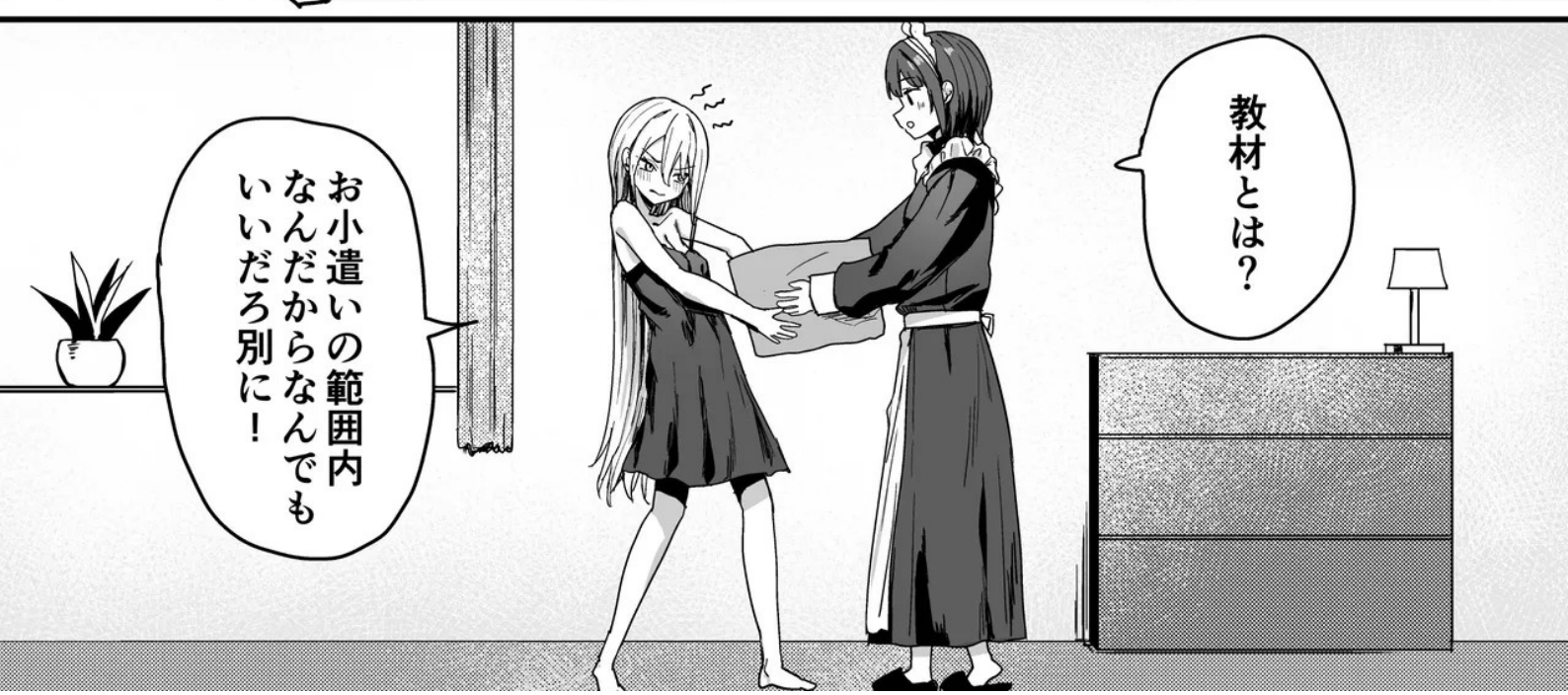
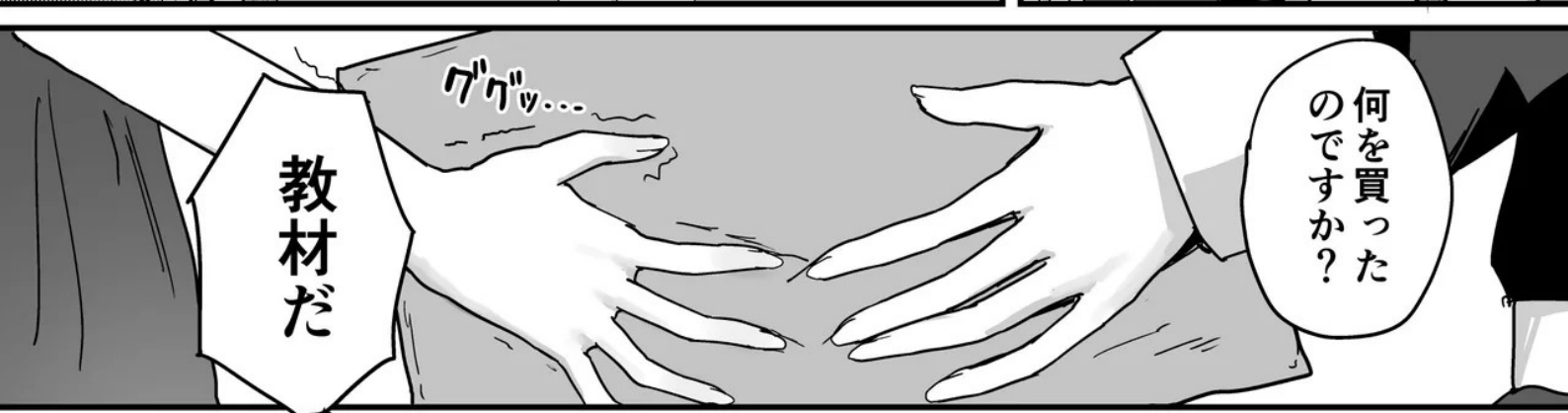
ここは  
ダメだあつ♡

これ以上はっ  
無理いつっ!!

アッ♡



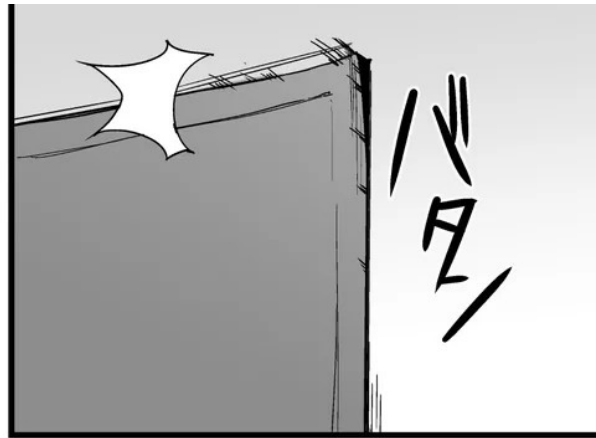








こんなもの  
言えるか!!



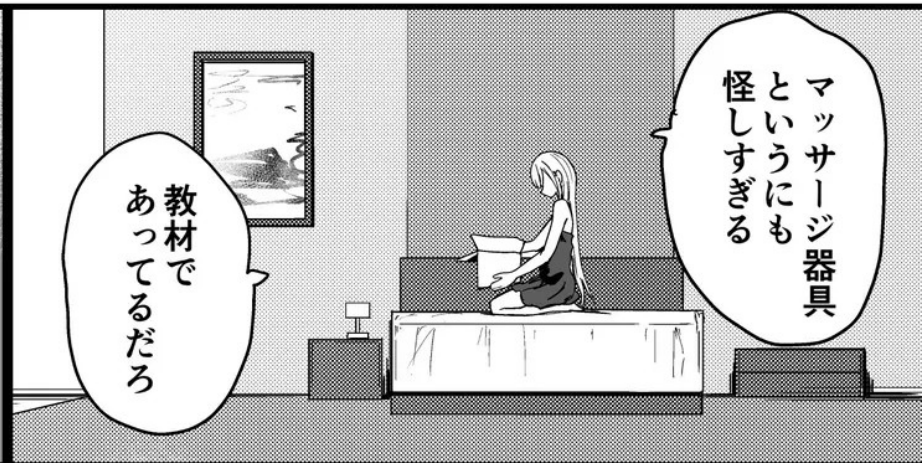
バタン



しつこいな  
もう!!



教材で  
あってるだろ



マッサージ器具  
というにも  
怪しすぎる



さて  
続きだ・

乳首が勃って  
どうしようも  
ない・

ふ...

今すぐイきたい・  
乳首を触りたい・  
脳が快感に支配  
されていくっ



って：  
何自然に脱ぎはじめて  
るんだ私は！

誰も見ていない  
とわかってても  
すごい緊張感

そわ

あらっ

むん

あう

なんという開放感

んわ



だが・・・  
好奇心が暴走  
している

すっ

きゅん

きゅん

あう

これを挿れろと  
誘惑に負けた脳が  
叫んでいるッ



丸見え  
じゃないか!!

もど

いっ

掛け布団の中でシたいのに  
なんで持っていくんだより！

もど

もど

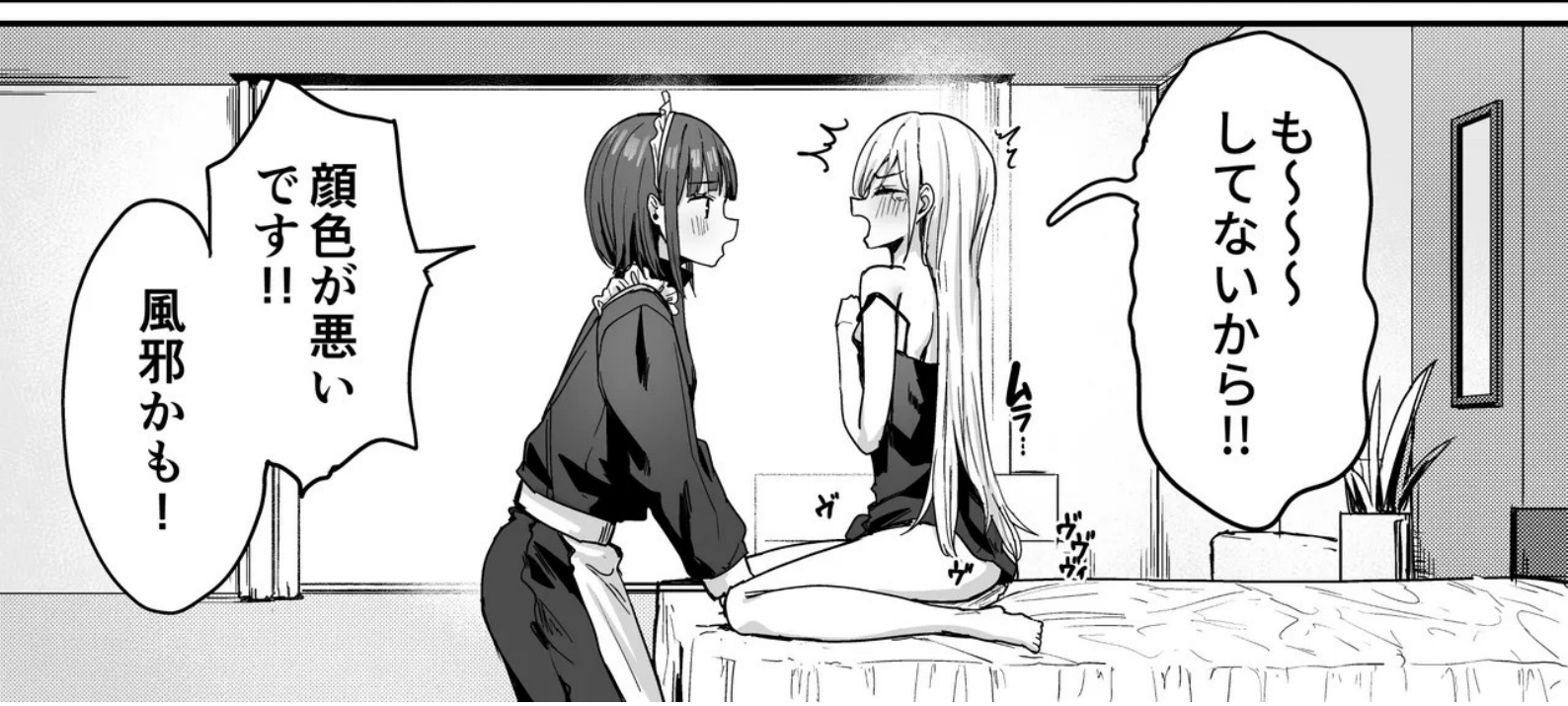


























やはり  
愚かだった…  
悔いしかない

いくところまで  
凝視されて…  
性欲にまかせても  
ろくなことがない

もうナニしてるか  
わかっただろ！

出ていけ

フッ

すみません  
アイリス様

不安にさせるような  
眼差しでアイリス様を  
見てしまって…！

は？

アイリス様が  
どんなイキ方をして  
も  
ずっとお側にいますから  
安心してください！！

むしろ  
お手伝いします！！

ゴキウ

イヤだ！  
下がれ！！

どこを気持ちよく  
したらいいですか？

いいって言うてる  
だろー！！

ぎゃー



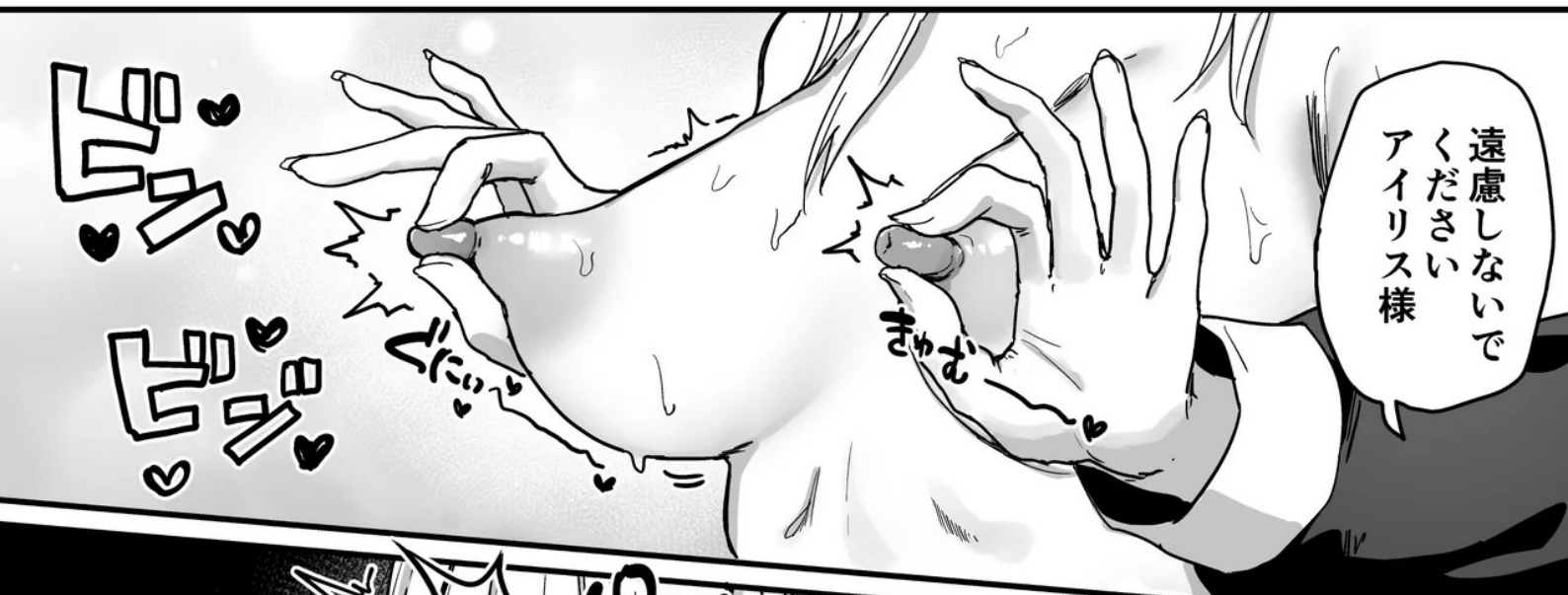




こわいですが  
アイリス様



おまえっ  
クビにするぞ!!



遠慮しないで  
ください  
アイリス様



イキそびれすぎて  
敏感になってる...





ですよ  
全然イかない  
アイリス様  
ですもんね

アハハハハ

エーッ……!!

びび

激しくし  
ちゃいますよー

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

カハハハ

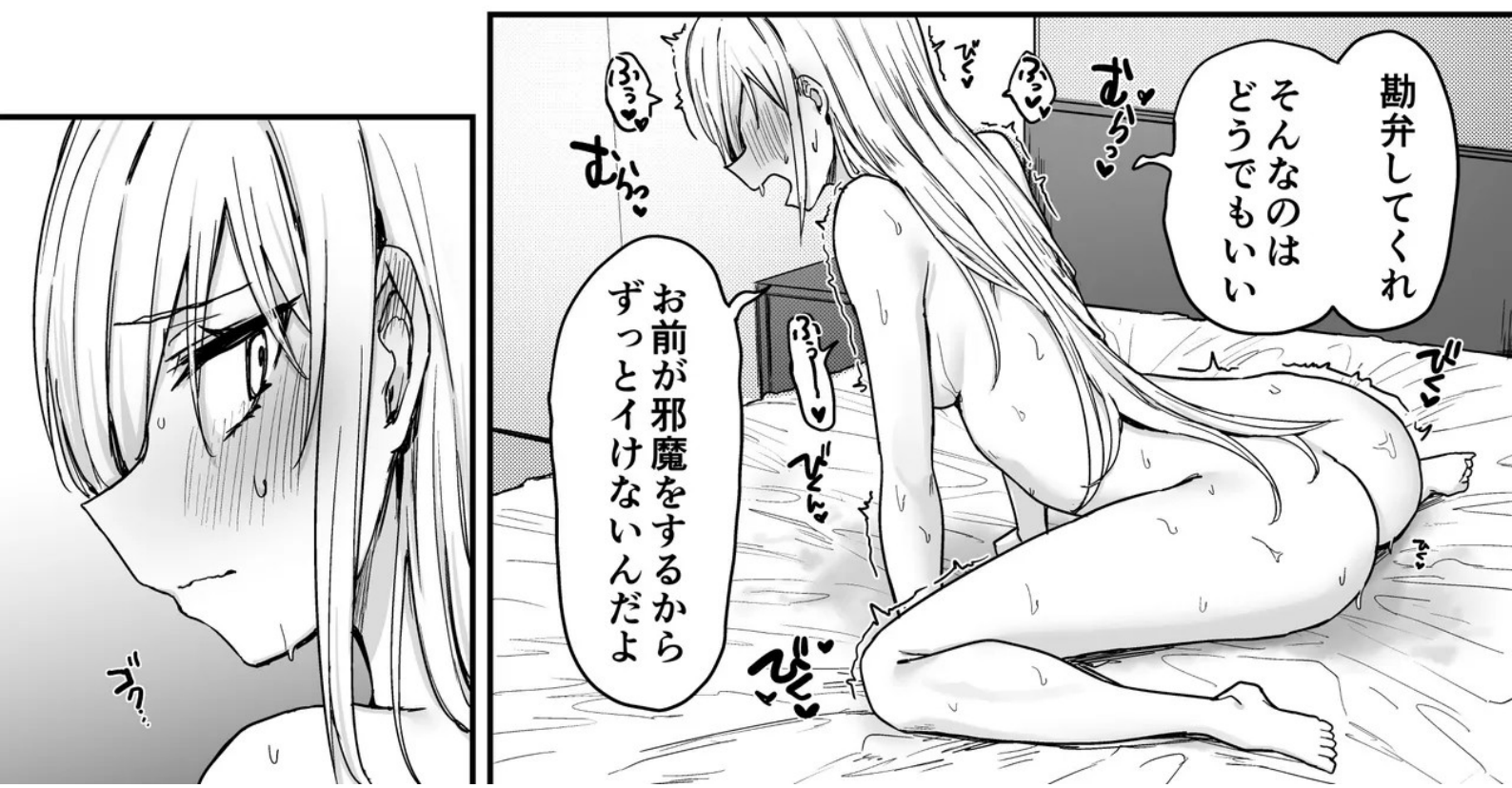
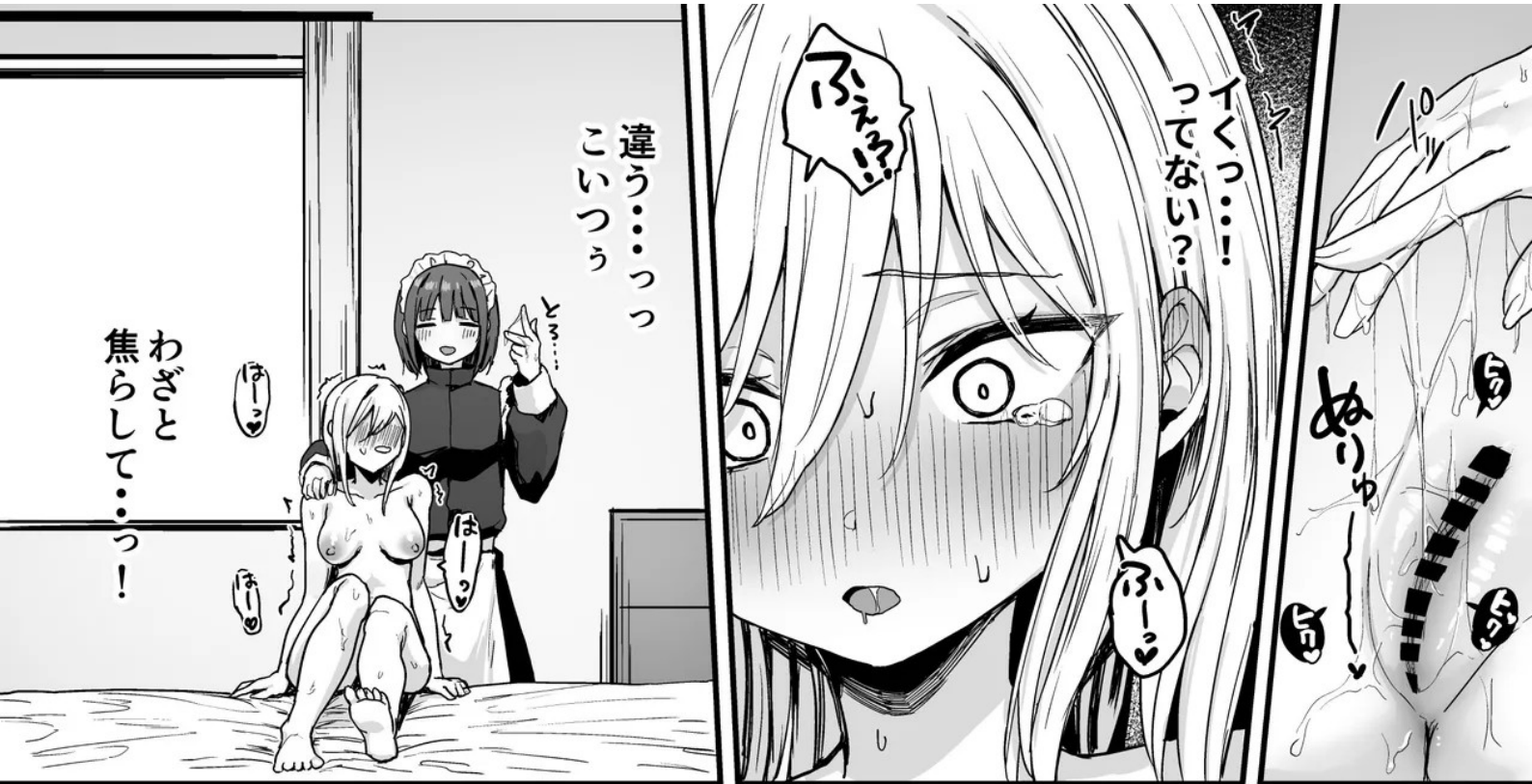
びび

ダメだっ!  
イッちゃっ……っ

びび  
びび  
びび

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ







エー...

やるなら  
ちゃんと  
やってくれ...

!!



言ってくれないと  
わかりません

ち・乳首  
あと・下も

した？

まんこ

もう  
お下品です  
アイリス様！



何を致しま  
しょうか

は？  
手伝うって言ったのは  
おまえじゃないか!!



触れ！

触って  
ましたよ？

もう一回!!

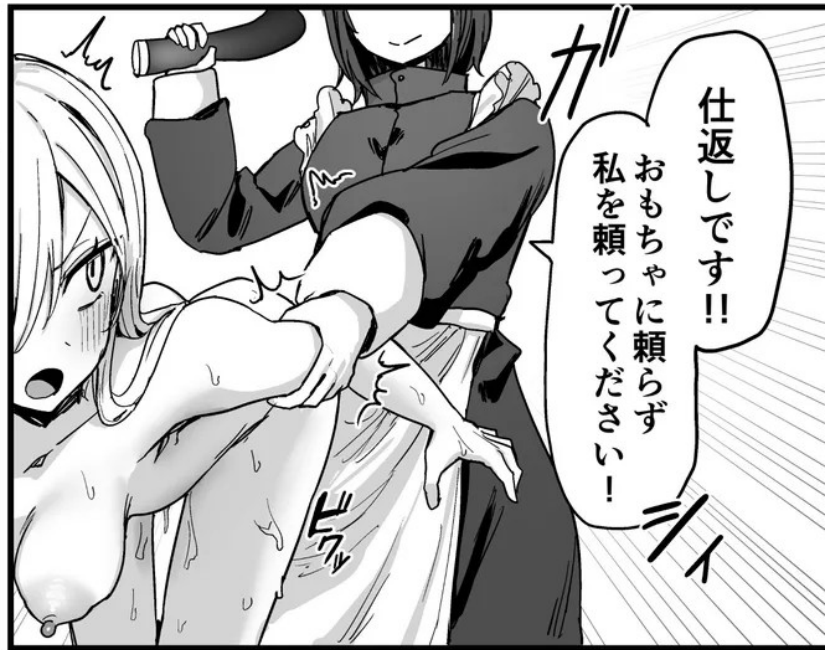
ちゃんと  
いくまでやれ!!

どこを触って  
ほしいんですか？

なんで  
わかんないんだよ!!

そんなイライラ  
しないでください  
アイリス様怖いです

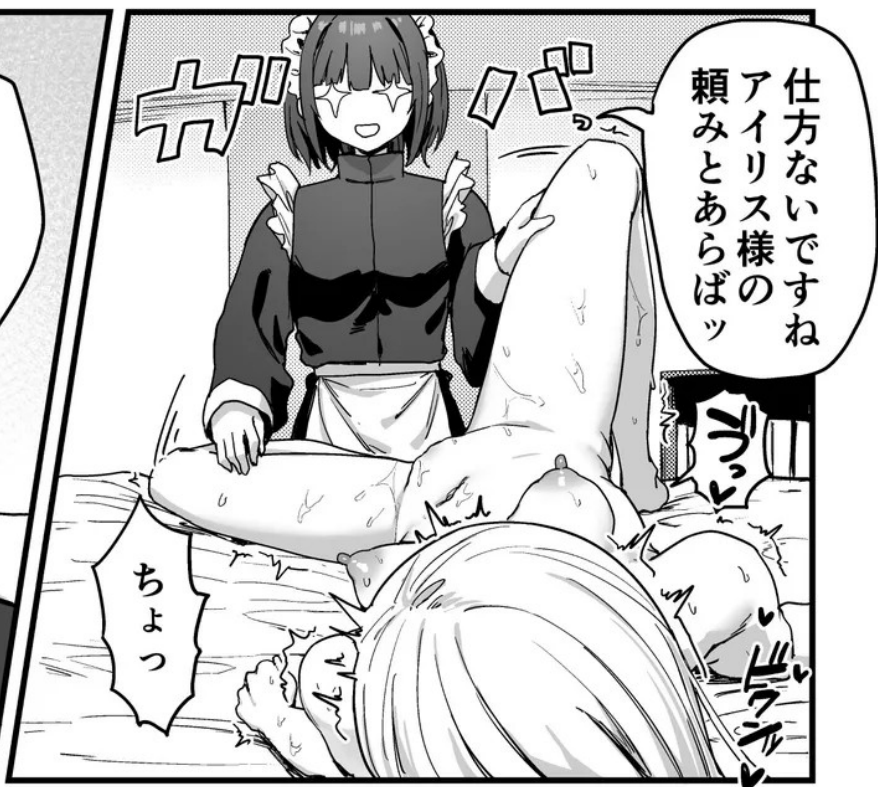














つよい

もっと  
優しくしろ











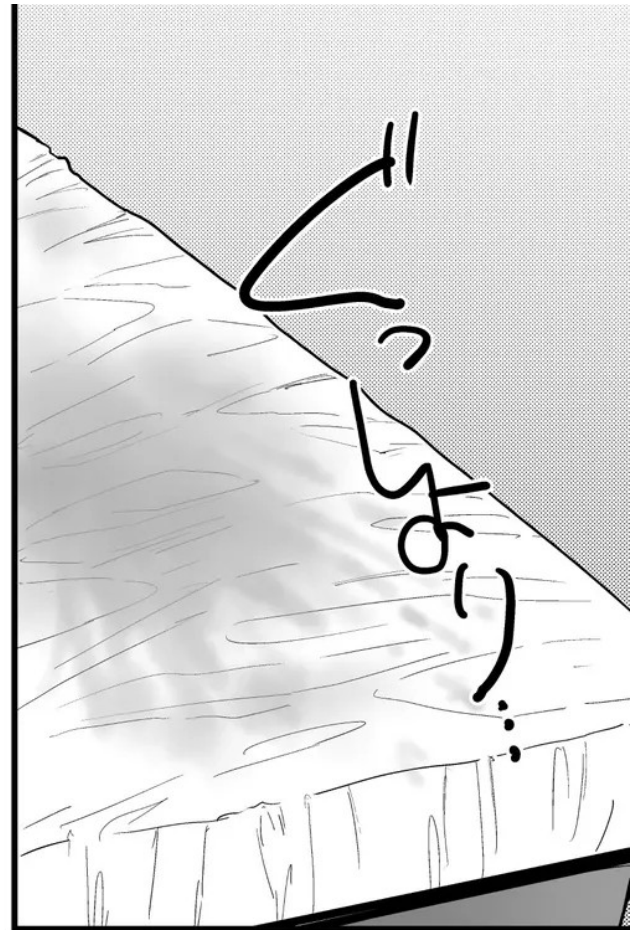














⚠禁止事項⚠  
二次配布、販売行為、その他商用利用等  
無断転載・複製・Web上の配布等

⚠Caution⚠  
Reproduction is prohibited.  
Do not repost.

あとがき

こんにちは、ピリオデストラクションです。  
作品を手にとってくださいありがとうございます。  
本作は「申し訳ございません、アイリス様。」の後日談の立ち位置にはなりますが、前作はカラー漫画、今回は白黒漫画であったり、作風もがらりと変わっており、別作品として見ていただいても問題ない系漫画になっております。

前作はシリアスめな設定で、歪んだアイリス様にメイドの制裁が下される形の話でした、それとは裏腹に、メイドヨーコの狂気的な愛情とユーモアで多少ほっこりする感じの話が描けたかなと思ってます。

ギャルシリーズでは豊満なBODYのキャラクターたちを多く描いているのとは対称的に、アイリス様は控えめな体つきで、勃起乳首が映えるコントラストとなって表現できる喜びがあります。

また、ツリ目とさらさら髪のアリス様のかわいいお顔を表現するのが今回の一番のテーマでした。  
同じ好みの方に刺さっていたら大変うれしく思います。

今後も百合作品メインで展開していきますので  
趣味が合いそうでしたらゆるくご期待いただけたら幸いです。

発行:2025/06配信  
サークル:ピリオデストラクション  
代表:pn  
X:@priodestruction  
pixiv:id=83576012  
mail:piripunpun@gmail.com





